

アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

8

2008

第155号

特集●
ミャンマー軍政の20年

フォト・エッセイ●
北京の街角から



1 巻頭エッセイ ナルギスと国民投票

斎藤照子

特集 ミャンマー軍政の20年—何が変わり、何が変わらなかったのか

2	●特集にあたって—なぜ軍政は生き残れたのか	工藤年博
4	●新憲法とミャンマー政治のゆくえ	伊野憲治
10	●転機をむかえる国軍	中西嘉宏
14	●軍政下の宗教政策と宗教をめぐる状況	土佐桂子
18	●カレンの20年、民族の1世紀	池田一人
22	●国際社会とミャンマー軍政	石田正美・工藤年博
26	●ミャンマー軍政の外交を振り返って	丸山市郎
28	●財政改革が先送りされるカラクリ	久保公二
32	●揺れ動く対外開放政策	工藤年博
36	●日系企業から見たミャンマーの20年—期待と挫折と	小島英太郎
38	●「内向き」のコメ至上主義が貫かれるミャンマー農業	岡本郁子
42	●貧困問題・食料事情	藤田幸一
46	●日本の対ミャンマー外交	丸山市郎
48	●ミャンマー独立50年を経た後に	ミヤットテイン

52 連載／もっとやさしい開発経済学 第9回 保健—その費用を誰がどのように賄うのか 内村弘子

54 フォト・エッセイ 北京の街角から 今岡昌子

58 カルチャー・ショック

外国人のみた日本	サムライの左か、「右へ倣え」か?	バター・ガンボルド
日本人のみた外国	執事のいる社長室	星野妙子

60 ブックシェルフ

新刊紹介／山田俊一編『エジプトの政治経済改革』	山田俊一
レファレンスコーナー／南アジアについて調べる・学ぶ	東川 繁

62 アジア各国・地域 経済統計 図書館資料サービス課

66 研究所だより

◆表紙写真：イラワジ川を渡し船で渡る人々（写真提供：裕林社、撮影：岡野浩二）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

AIDE アジア経済研究所出版物アーカイブ

Archive of IDE Publications

<http://d-arch.ide.go.jp/aide/>

アジア出版物をインターネット公開

アジア経済研究所は、1960年の設立以来、開発途上国・地域の経済・政治・社会の諸問題に関するさまざまな出版物を提供しております。このたび、これらの出版物をより多くの方々にご利用いただくために、インターネットを通じて「アジア経済研究所出版物アーカイブ“AIDE - Archive of IDE Publications”」として公開することになりました。



まず、第一弾として、1990年以降に刊行した「研究双書」、「アジア研選書」、「情勢分析レポート」、「アジアを見る眼」、などに収録されている3200点以上の論文を全文公開いたします。これまで以上に情報発信機能を強化し、世界に向けて開発途上国に関する研究成果の普及に努めて参ります。皆様、ぜひご利用ください。

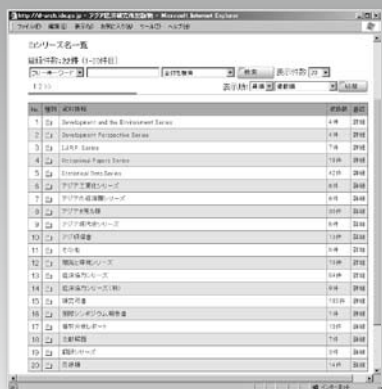
章単位で検索

(著者名、論文名、全文情報など)

ブラウジング

(シリーズ名、地域・国・主題別)

PDF ファイルでダウンロード



刊行10年以内の出版物へのアクセスはアジア研賛助会法人会員のみとなります。会員サービスについては下記へご連絡ください。
アジア経済研究所 成果普及課

TEL: 043-299-9536 / FAX: 043-299-9726 / E-mail: members@ide.go.jp

—研究所だより—



▼出版物のご案内

●研究双書

* No.569 水野正己・佐藤寛編『農村と開発—農村開発論再考』三、五七〇円 (税込)

(税込)

* No.570 小島道一編『アジアにおけるリサイクル』四、九三五円 (税込)

●アジア研選書

* No.12 工藤年博編『ミャンマー経済の実像—なぜ軍政は生き残れたのか』三、〇四五円 (税込)

* No.13 山田俊一編『エジプトの政治経済改革』三、九九〇円 (税込)

●アジアを見る眼

* No.110 ティムール・ダダバエフ著『社会主義後のウズベキスタン—変わる国と揺れる人々の心』一、〇二九円 (税込)

平成20年度発展途上国研究奨励賞の決定

昭和55年に創設された「発展途上国研究奨励賞」は、発展途上国に関する社会科学およびその周辺分野における調査研究の優れた業績を評価し、この領域における研究水準の向上に資することを目的としています。

今回選考の対象となったのは、平成19年1月から12月までの1年間にわが国で公開された図書、論文など発展途上国の経済、社会などの諸問題を調査、分析したものです。

平成20(2008)年度は下記の作品が選ばれました。

〈授賞作〉

『老いてゆくアジア』 (中央公論新社)

おおいずみけいじろう
大泉啓一郎

((株)日本総合研究所調査部環太平洋戦略研究センター主任研究員)



〈最終選考対象作品〉

最終選考の対象となった作品は授賞作のほか、次の作品でした(著者五十音順)。

- 青山瑠妙著『現代中国の外交』 (慶應義塾大学出版会)
- 大野昭彦著『アジアにおける工場労働力の形成—労務管理と職務意識—』 (日本経済評論社)
- 柯 隆著『中国の不良債権問題』 (日本経済新聞出版社)

●文献解題

* No.41 二階宏之編著『朝鮮半島における南北経済協力—韓国からの視点』二、九四〇円 (税込)

●情勢分析レポート

* No.10 吉田栄一編『アフリカ開発援助の新課題—アフリカ開発会議とTICAD IVと北海道洞爺湖サミット』一、五七五円 (税込)

* 問合せ・申込先 研究支援部出版企画編集課 (販売担当直通)

TEL: 043-2999-9735
FAX: 043-2999-9736

▼最近の主な海外来訪者

* アメリカ Dr. Thomas W. Roehi
(ウエスタンワシントン大学経営学部教授) 〓 6月6日

▼次号の特集は「インド経済—成長の条件」です。

『アジ研ワールド・トレンド』 第14巻第8号 通巻155号

2008年8月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2
TEL 043(299)9735 FAX 043(299)9736

http://www.ide.go.jp

印刷

社会福祉法人東京コロニー コロニー印刷



——グアテマラ、マヤの歴史を織る人びと——

チャフル

撮影：デニス・グレイ、フォトグラファー／解説：小林グレイ愛子、タペストリー作家

チャフルはイシル地方のイシルトライアングルと呼ばれる美しい民族衣装で有名な3つの村のひとつ。コーヒー農園で豆をより分けている女性達は大きなボンボンのついた頭飾りの紐と見事な柄が織り込まれている帯を身に着けている。腰布のホルテもひも類のベースの色も赤が基本で、以前は上に着るウィピールも赤であったが、今は青やグリーンやさまざまな地色が好まれている。昔のお祭りや儀式のときに着るウィピールは短めで木綿の白地に小さなロバや鳥が絹糸で織り込まれ首周りも絹糸で刺繍されていたが、もう若い人には着られていないのかもしれない。そしてだんだんと柄が大きく派手になっている。柄は時間がかかる縫い取り織だったものが中には織に見える様に刺繍をしたりする人もいようだ。他の2つの村(サンファンコツァル、ネバツフ)では木綿を使っているが、今ではこの村のほとんどのウィピールが化学繊維で織られているのが残念である。色があせず乾きが早いうえに何より安く手に入るので木綿より好まれているのだ。表の柄模様を汚さないために裏返しに着ている少女の赤いウィピールには刺繍なら必ず見える斜めや横に行ったりきたりするはずの色糸が無い。これが刺繍ではなくて片面縫い取り織りであるという特徴だ。